

小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成22年1月21日(木)午後7時00分～午後8時50分
場所 小田原市役所 601会議室

2 出席した教育委員の氏名

- 1番委員 山田浩子
2番委員 前田輝男 (教育長)
3番委員 桑原妙子 (教育委員長職務代理者)
4番委員 和田重宏 (教育委員長)
5番委員 山口潤

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 学校教育部長 | 木目田 和 義 |
| 生涯学習部長 | 和 田 豊 |
| 生涯学習部次長・生涯学習政策課長事務取扱 | 桐 生 薫 |
| 文化財統括担当参事兼生涯学習部文化財課長 | 塚 田 順 正 |
| 教育総務課長 | 曾 我 勉 |
| 施設担当課長 | 木 内 隆 行 |
| 学校教育課長 | 伊 澤 秀 一 |
| 教職員担当課長 | 西 村 泰 和 |
| 教育指導課長 | 柳 下 正 祐 |
| 生涯学習センター担当課長 | 高 橋 幸 男 |
| 青少年課長 | 瀬 戸 伸 仁 |
| スポーツ課長 | 荻 谷 一 義 |
| 図書館長 | 森 徳 行 |
| 課長補佐兼指導主事・指導担当主査兼相談担当主査事務取扱 | 栗 畑 寿 一 朗 |
| 教育研究所長 | 小 泉 信 二 |
| 教育指導課主幹・指導主事 | 中 畑 幹 雄 |

(事務局)

教育総務課長補佐・総務担当主査事務取扱 座 間 亮
教育総務課上級主査 瀬 戸 英 樹

4 議事日程

日程第1 議案第1号 教育財産の用途廃止について(教育総務課)

5 報告事項

- (1) 市議会12月定例会一般質問の概要について(学校教育部・生涯学習部)
- (2) 小・中学校及び幼稚園における新型インフルエンザに伴う臨時休業の状況について(学校教育課)
- (3) 平成22年度全国学力・学習状況調査への参加について(教育指導課)
- (4) 小田原文化財団の設立について(生涯学習政策課)
- (5) 平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について【非公開】(教育指導課)

6 協議事項

- (1) 平成22年度学校教育の基本方針について(学校教育部)
- (2) 平成21年度3月補正予算について【非公開】(学校教育部)
- (3) 平成22年度予算について【非公開】(学校教育部・生涯学習部)

7 議事等の概要

- (1) 委員長開会宣言
- (2) 会議録署名委員の決定…山田委員、前田委員に決定
- (3) 日程第1 議案第1号 教育財産の用途廃止について(教育総務課)

提案理由説明…教育長、施設担当課長

前田教育長…それでは、議案第1号「教育財産の用途廃止について」を御説明申し上げます。これは、小田原市羽根尾字押切609番地の一部に所在する「旧橘学校給食共同調理場」について、神奈川県より、都市計画道路小田原中井線整備事業のため、県が建物補償をするかたちで、建物除却について依頼がございましたので、教育財産の用途廃止を行おうとするものでございます。細部につきましては、所管から御説明申し上げます。

施設担当課長…それでは私から、議案第1号「教育財産の用途廃止について」ご説明申し上げます。恐れ入りますが、先に議案資料2ページの位置図をご覧ください。国道1号の西湘バイパス橋IC入口（橋支所付近）と、県道中井羽根尾線の小田原厚木道路を越えた地点を結ぶ、都市計画道路小田原中井線については、現在、県で事業を推進しておりますが、この度、橋支所の裏手にある「旧橋学校給食共同調理場」について、計画道路区域内に位置するため、神奈川県より除却の依頼がございました。図面の一点鎖線で示しているのが計画道路の線形、斜線で塗りつぶしているのが当該建物を示しております。恐れ入りますが戻って、議案書の1ページをお開きください。この小田原市羽根尾字押切609番地の一部に所在する旧橋学校給食共同調理場は、昭和39年、当時の橋町が建設した、鉄筋コンクリート造平屋建て、及び軽量鉄骨造平屋建てで、合計延べ床面積205.80㎡の施設であります。その後、本市と橋町が合併した後の昭和57年、下中小学校の敷地内に新たな橋学校給食共同調理場が建設されるまでの間、本市の学校給食共同調理場として使用し、その後、教育委員会の倉庫として現在に至っております。歳入となる建物補償費は、後程協議事項でご説明する平成21年度3月補正予算に計上し、解体工事費は平成22年度当初予算にそれぞれ計上させていただく予定です。なお、用途廃止する期日は、教育長の定める日とさせていただきたいと考えております。以上で説明を終わらせていただきます。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

（質疑・意見等なし）

採決…全員賛成により原案のとおり可決

（4）報告事項（1） 市議会12月定例会一般質問の概要について

（学校教育部・生涯学習部）

事務局説明…学校教育部長・生涯学習部長 資料1を基に説明

（質疑・意見等なし）

和田委員長…説明にもありましたとおり、多岐にわたり多くの質問が出されておりますので、時間をかけて読んでいただき、何か不明な点等ございましたら後ほどご質問等いただければと思います。

(5) 報告事項(2) 小・中学校及び幼稚園における新型インフルエンザに伴う臨時休業の状況について(学校教育課)

事務局説明…学校教育課長 資料2を基に説明

(質 疑)

桑原委員…先日開催されました「おだわらっ子ドリームシアター」の際、1クラス欠席されたのが、この学級閉鎖の学校ということでしょうか。

学校教育課長…そのとおりです。

山口委員…だいぶ減ってはきていますが、神奈川県下の中では小田原は定点医療機関のデータが高いので、予断は許さないほうが良いと思います。

(その他質疑・意見等なし)

(6) 報告事項(3) 平成22年度全国学力・学習状況調査への参加について
(教育指導課)

事務局説明…教育指導課長 資料3を基に説明

(質疑・意見等なし)

和田委員長…ただ今説明がありましたとおり、抽出校については公表しないということですので、よろしく願いいたします。

(7) 報告事項(4) 小田原文化財団の設立について(生涯学習政策課)

事務局説明…生涯学習部次長 資料4を基に説明

(質 疑)

山 田 委 員…小田原がこれで全国的に注目を集めて、色々な方が訪れることが期待されますが、小田原市がどこまで関わるのでしょうか。また、いつ頃完成予定なののでしょうか。

生涯学習部次長…市と財団の施設との関わりについてですが、基本的には市と直接的な関わりはございません。しかし、活動内容が本市の芸術・文化の振興や国際交流、地域の活性化など効果があると考えられますので、財団が実施していきます様々な事業に小田原市として連携をしてやっていかなければならないことは出てこようかと思っています。これから施設の方も考えていくということですので、詳しいことは分かっておりません。また、完成時期については、今伺っているのは、開発行為の申請許可が必要で、この申請をする前に行う事前協議をこれから進めていくということで、本年の6月以降に開発行為の申請をして、その後許可された上で整備に入るということなので、少し先になるかと思えます。

山 口 委 員…これは、市が誘致したわけではなくて、ご本人のご希望で江之浦を選ばれたのでしょうか。

生涯学習部次長…現地は右手に真鶴半島、前面には相模湾が一望でき、その景色に杉本先生が感動され、この地を気に入っていただいて施設計画を立てたと伺っております。

山 口 委 員…交通の便があまり良いところではないので、市が協力する必要性が生じる可能性も出てくるかもしれません。

生涯学習部次長…これからの施設計画に伴って、色々な意見なども出てくるかもしれません。また、今月の30日に地元の方に財団が設立されたことと今回ご説明したアウトラインなどの説明会を開催するとのことでした。

和田委員長…能の舞台が常設されると小田原の文化の向上には、大いに役に立つのではないかと思います。

生涯学習部次長…構想の段階ですが、能の舞台は、組み立てられる移動式の舞台を考えているとのことでした。

(その他質疑・意見等なし)

(8) 報告事項(5) 平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について

(教育指導課)

和田委員長…次に、報告事項(5)として「平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について」を追加いたしますが、会議の非公開について、お諮りいたします。報告事項(5)「平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について」は、市議会定例会への提出前であり、1月28日に開催される厚生文教常任委員会で報告後公開する予定ですので、その性質上、これを非公開といたしたいと存じます。

本報告事項を非公開とする件について、採決いたします。

「平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について」の報告を非公開とすることに賛成の方は、挙手願います。

(全員挙手)

和田委員長…全員賛成により、報告事項(5)「平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について」は、後ほど非公開での報告といたします。

(9) 協議事項(1) 平成22年度学校教育の基本方針について(学校教育部)

教育指導課長…資料5をご覧ください。「平成22年度の学校教育の基本方針及び目的と目標」です。本日は原案の提示をさせていただきますので、教育委員の皆様で協議、検討していただき、追加修正をしたものを最終版として出していきたくと考えております。それでは、原案について説明をさせていただきます。基本方針については、新学習指導要領の趣旨や目的を踏まえた上で、小田原市の学校教育の基本方針を考えております。めざす子ども像につきましては、具体的に掲げた「3つの心」と「3つの力」を持った子どもの育成です。この実現に向けて「未来を開くたくましいおだわらっ子の育成」を目的とし、4つの目標を(1子どもの生きる力の醸成、2小田原

のよさを生かした教育の推進、3家庭・地域とともに歩む教育の充実、4教育環境の整備と充実)を設定し、それぞれについて具体的な施策の方向性を3点から4点丸数字で示しております。次のページをご覧ください。学校教育に関する取り組みの重点ですが、子どもたちの「生きる力」をはぐくむためには、「知」・「徳」・「体」をバランスよく育てることが大切です。そのために、「確かな学力の向上」「豊かな人間性の育成」「身体の健康づくり・食育の推進」に取り組んでまいります。また、「不登校対策」につきましても、今年度まで特に力を入れて推進して参りましたが、さらに充実するように取り組んでまいります。そのほか、「支援教育の充実」「コミュニケーション能力の向上」「郷土を愛し、大切に学習の充実」「子どもの安全・安心の確保」につきましても、重点として力を注いでまいります。これらの重点取り組みを達成するために、学校・家庭・地域が一体となった教育、幼・保・小・中一体教育の推進の更なる充実に努めてまいります。簡単ではございますが説明は以上です。教育委員の皆様のご意見をいただければと思います。よろしくお願いたします

(質 疑)

和田委員長…目標の2番目の「小田原のよさを生かした教育の推進」の中で、②体験学習活動の充実とありますが、具体的にはどのようなことでしょうか。

教育指導課長…事業全般の中で、国語や算数、英語などを含めて、体験を通して学ぶことで子どもたちにより実感を与え、その中で本当の知識・理解というものを育てていきたいということです。特に、音楽や体育、総合的な学習の中で、自ら関わって社会や自然と触れ合い、それらの良さや関わりを通じて自分達を高めていって、さらに社会や自然に返していくという、そういう学習を中心にしながら、子どもたちの生きる力を育てていきたいと考えております。

桑原委員…同じく「小田原のよさを生かした教育の推進」の中で、①小田原独自の学習プログラムの推進とありますが、具体的にはどのようなことでしょうか。

教育指導課長…現在、小・中学校では地域の素材や環境・自然等を生かした教育を行っ

ておりますが、それらを来年度はもう一度見直しをして、実際にどんなことを行っているかを教育指導課で調査して、体系化していこうというものです。そして、取りまとめたものを学校に戻すことによって、自分達が今までやってきたことが、実際に小田原市の素材を生かした教育をこれだけやっているということ子どもたちに自覚をさせていきたい。その中で、郷土を愛し、誇りに思うということはもちろん、それを地域に返していくことを考えています。現在小田原ハートというプロジェクトを組んでおり、小・中学校の教員と教育指導課の指導主事が中心となって、体系的なものをどのように創っていくかなど、基本的なところを検討しております。

桑原委員…目標の4番目の「教育環境の整備と充実」の中で、②教職員の意識改革と資質の向上とありますが、具体的にはどのようなことでしょうか。

教育指導課長…子どもの良さを見取って、良さを伸ばす教育に力を入れていくということです。一律に一時限の授業の目標があって、その8割とか9割が達成すればよしというのではなく、一人ひとりがどのように目標に近づき、どういう力を付けたのかという見方ができる、授業ができる先生を育てていきたいと思っています。そのためには、教材をどのように分析すべきか、子どもたちが今どういう状態にあって、それを伸ばすためにはどのような方法をとるべきかなど、そういう資質を育てていきたいと考えています。研修はもちろんですが、教育委員会が主催する研修以外にも指導主事が訪問をして指導する、学校の中のベテランの先生方の力を若い先生に伝えていくような組織づくりを作っていきたいと考えています。

和田委員長…現在団塊の世代の先生方が退職されて、若い先生方が増えている状況にあります。聞くところによると、小学校などでは平均年齢がすごく若くなっており、中間の世代の先生がいない状況だということです。今説明があったようなベテランの先生が若い先生方をきちんと指導するという体制が難しくなっていることを危惧しておりますが、その点いかがでしょうか。

教育指導課長…例えばある小学校では、放課後にベテランの先生が若い先生達に講義をする時間を設けたりしています。教育委員会の施策の中でも、校内での資質の向上を図るためにはどのようにすべきかなど積極的に指導していきたいと思っています。また、退職校長会からも是非私達の力も使ってほしい

という要望も出ていますので、そういう方に学校に行って指導していただくことなども検討していければと思います。まずは、現在実施している優れた活動を色々な学校に紹介し対応してまいります。

和田委員長…一般の企業だと研修を受けるのに、外部から人を派遣してもらい研修をしていることが多く、これは一般社会に通ずる人格を企業の中で養成しているということだと思います。教育の場合、昔はほとんど校長や指導主事など内部の人の研修が主になっていたと思います。一般社会に通用する人材を育てるという視点で、現在の新人の研修のしくみを教えてください。

教育指導課長…研修のしくみにつきましては、県の研修が主でそれを補うという形で市の研修を実施しています。学校の先生に授業を上手に行う研修、子どもたちを見ていく研修が多いですが、学校の中には一般の方を講師に招いて、社会人として先生方を教育する研修を取り入れている学校もございます。例えば、ラジオのアナウンサーやお医者さんを招いて実施している学校もございますが、課題もございますので検討をしてみたいと思います。ただ、先生だけの力を育てるのではなく、一般人として社会人としての力をつけていくような方法を検討してまいります。

山田委員…目標の3番目の「家庭・地域とともに歩む教育の充実」の中で、①地域一体教育と幼・保・小・中一体教育との融合とありますが、これはとても良い活動で、例えば幼稚園や保育園で色々な問題が起きた場合、小学校に伝わり話し合いがもたれるなど連携が取れることは非常に大切なことだと思います。また、今世の中が失敗を許さないような風潮がありますが、失敗をしてもやり直せるような学校やクラスにしていきたいと思います。

山口委員…小学校と中学校に入る対象年齢の子どもの、市立と私立に通学している割合は把握していれば教えてください。

教育指導課長…今詳しいデータは持ち合わせておりません。

山口委員…私立に入学するお子さんが増えている状況があります。公立の学校に通っていれば地域一体教育にのっていかれるけれども、私立の学校に通う子どもが増えてきた場合にどのように地域一体教育を進めていくのか、今後検討していく必要が出てくるのではないかと思います。

桑原委員…先日の「おだわらっ子ドリームシアター」の話を私立に通っている小学校4年生の子と話をしたら、見ていないということでした。同じ学年でも共通の話題が持てなくなるのかと感じました。私立に入学するお子さんが増えていくと、地域一体教育というのが難しくなるような気がして、今後の課題であると感じました。

山口委員…生涯学習とも関係してくると思いますが、公立に通学していなくても一緒に参加できて仲間になれるようなプログラム作りも必要になってくると思います。

学校教育部長…地域一体教育というのを、大きく考えて見ていただきたいと思います。今考えておりますのは、児童・生徒の学びの場ということではなく、これからは地域の方が学校の施設を使って、学校を地域の核として有効活用をしていただく、それによって地域の触れ合いも広がってくるというような、あくまでも学校という名称ではありますが、そういう施設を多様に使っていくことを考えております。例えば、夏休みの子どもさんが来ない時に地域の方や保護者の方が学校で子どもさんと学ぶとか、各学校が学校農園を持っていますが、農地で空いているところがあれば、食育を含めた中で一緒にやっていくなどバリエーションはあると思いますので、もう少し大きな考え方の中で、地域一体教育をやっていく必要があるのではないかと考えております。

山口委員…先日、相模原市立青根小学校を視察して、ずっと小田原に居たら小田原の良さがわからないので、向こうの子どもたちと交流することによって考えが広がる良い機会だと思いました。

和田委員長…前に教育長と部長と市長で話し合いを持った際に、特色ある学校づくりの推進の中で、各学校校訓があるだろうという話が出ました。世代間交流というのはすごく重要な教育のポイントで、その点では校訓というのは、年代を超えて言い伝えられているもので、是非世代を繋げるという意味で地域の一体化として活用すれば良いと思います。

前田教育長…校訓の話ですが、それぞれの学校で特色があって、昔から培われている信条はどこの学校にもありますので、地域に根ざした歴史は大切にしていきたいと思います。

和田委員長…ここで言うべきことではないかもしれませんが、いわゆる体育座りというのは幼稚園から高校まで全員が日本中どこでもやっています。あれは戦後の形で戦前あのような形は無かったと思います。実はあの体形をすると下腹に力が入りません。これは連合軍が日本の軍人を捕虜にした時の姿勢であり、これが学校教育の中に蔓延しているということに私は危惧をいただいています。本来ならばきちんと下腹で受け止めて考えるということをしななければならないのに、考えさせない服従の姿勢を取らせているというのが、学校教育の中でこの小田原で改革できたら画期的なことになるのではないかと思います。これは、学者も誰も研究していないようです。かつての文部省にも問い合わせましたが、その当時はわかりませんでした。

桑原委員…私も賛成です。イメージとしては、校長先生の話聞くのに何かだらしなく座っている感じがします。

前田教育長…体育座りは集団行動の中で、前に習えや回れ右などと一緒に1・2・3で座るように体育の指導書にあります。

和田委員長…何か無気力になるような気がします。

桑原委員…あれが国をダメにしているような気がします。

教育指導課長…先日ある学校で臨床心理士の方に色々子どもたちの心を楽にする話を伺ったことがあります。その時体育座りは、心を閉ざす姿勢だと指摘を受けました。実際にその座り方は、私が子どもの頃にもやっておりましたが、内容的にそれを考えたことはありませんでした。確かに、体育の中に集団行動というのがありまして、座る姿勢はこうであるというようなことを教えております。少し考えていきたいと思います。

(その他質疑・意見等なし)

(10) 協議事項(2) 平成21年度3月補正予算について(学校教育部)

協議事項(3) 平成22年度予算について(学校教育部・生涯学習部)

和田委員長…それでは、次の協議事項に入る前に、会議の非公開について、お諮りいたします。協議事項の(2)「平成21年度3月補正予算について」及び(3)「平成22年度予算について」は、平成22年3月小田原市議会定例会へ

の提出案件であるとともに、市議会定例会への提出前であり、その性質上、これを非公開といたしたいと存じます。

本協議事項を非公開とする件について、採決いたします。

「平成21年度3月補正予算について」及び「平成22年度予算について」を非公開とすることに賛成の方は、挙手願います。

(全員挙手)

和田委員長…全員賛成により、ただ今から非公開といたします。

【終了後、平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について非公開で報告】

和田委員長…以上で本日予定の議題は終了いたしました。事務局からその他何かありますか。

教職員担当課長…お時間をお取りし申し訳ございませんが、過日の小学校教諭による個人情報等の紛失の事故に関しまして、お詫び申し上げますと共に、その後の対応につきまして、ご報告させていただきます。教育委員には、事故の概要につきまして、取り急ぎFAXにてお知らせさせていただきましたが、当該校では、事故後、週末から18日(月)にかけて、当該教諭及び当該校長とで、個人情報の紛失に係る全児童と保護者に対して、家庭訪問を行い、説明及び謝罪を行いました。その後、当該校長は、全職員に対して、個人情報の管理について再度確認し、管理の徹底を図ると共に、今後の再発防止に向けて取り組むよう指導しました。また、市教育委員会では、各学校に対して、個人情報の管理について、校内の管理体制の再点検と全教職員への注意喚起を行うよう、FAX文書を発送すると共に、19日(火)に当該校長に対し、教育長と学校教育部長から、個人情報の管理の徹底と再発防止に向けて取り組むよう改めて指導したところでございます。さらに、各学校に対しては、校長会などを通じて、個人情報の管理の徹底と再発防止に向けて取り組むよう指導し、併せて、各学校において、個人情報管理の校内体制の点検と臨時校内事故防止会議を開催するよう、

指示したところでございます。教育委員会といたしまして、今後、このようなことのないよう再発防止に向けて、指導してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(質疑・意見等なし)

(11) 委員長閉会宣言

平成22年2月25日

委 員 長

署名委員（山田委員）

署名委員（前田委員）